



参考資料 技術・家庭の技術分野の変遷の様子

S33 年告示 S37 年実施	S44 年告示 S47 年実施	S52 年告示 S56 年実施	H 元年告示 H 5 年実施	H10 年告示 H14 年実	H20 年告示 H24 年実施	H29 年告示 R3 年実施
--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-------------------

性 格 な ど	職業教育的 男子は技術 女子は家庭		移行過程→	普通教育としての技術・家庭科			
			内容中心教育へ向かう	問題解決的教育		問題解決	
	職業教育 ↓ 普通教育 設計・製図 内容重視	生活に必 要な技術 の習得 製図 内容重視	一部 技術で家庭 分野、家庭 で技術分野 相互乗り入れ	男女 共通履修で ↓ 普通教育 の性格出る	問題解決的 な学習重視 内容より 方法重視 ゆとり教育	問題解決的 な学習重視 全必修のた め方法=内 容重視	技術による 問題解決の 重視 方法>内容

履 修 方 法 な ど	男子向き・女子向き 男女別履修で 全ての内容必履修	男女別で原則 必修、一部領 域で男女相 互乗り入れ	内容の選択履修有り		全ての内容必履修	
			4 領域は男 女共通履修	男女共、技術分野、家庭分野ともに 男女共通履修		
	授業時数：315	210～225	105～122.5	87.5		
		実質マイナス	内容 2 倍	授業時数の影響でキット教材採用が増える		
	教科書男女別学年単位	教科書上下	教科書上下	教科書 技術分野 家庭分野		

指 導 内 容 の 構 成 な ど	男子向き 1年設計・製図 木材加工・ 金属加工 栽培	男子向き 1年 A 製図 B 木材加工 C 金属加工	技術・家庭 A 木材加工 [1,2] B 金属加工 [1,2] C 機械[1,2] D 電気[1,2] E 栽培 F 被服[1,2,3] G 食物 [1,2,3] H 住居 I 保育 男子履修方法 A~E の 9 領域 から→5 領域 F~I 8 領域→ 1 領域 女子履修方法 F~I の 8 領域 から→5 領域 A~E の 9 領 域から→1 領 域	技術・家庭 A 木材加工 B 電気 C 金属加工 D 機械 E 栽培 F 情報基礎 G 家庭生活 H 食物 I 被服 J 住居 K 保育 A,B,G,H は 全ての生徒 履修 A,G は 1 年	技術・家庭 A 技術とも のづくり B 情報とコ ンピュータ C 生活の自 立と衣食住 D 家族と家 庭生活 A~D それぞ れ(1)~(6) (1)~(4)必修 (5)(6)選択 A(5)エネルギー 変換、A(6)栽培 B(5)マルチメ ディア、 (6)計測・制御	技術・家庭 技術分野 A 材料と加工 B エネルギー 変換 C 生物育成 D 情報 家庭分野 A 家族・家族 と子どもの成 長 B 食生活と 自立 C 衣食住・住 生活と自立 D 身近な消費 生活と環境	技術・家庭 技術分野 A 材料と加工 B 生物育成 C エネルギー 変換 D 情報 家庭分野 A 家族・家庭 生活 B 衣食住の生 活 C 消費生活・ 環境
	女子向き 1年 調理 被服製作 設計・製図 家庭機械 家庭工作	女子向き 1年 A 被服 B 食物 C 住居 2年 A 被服 B 食物 C 家庭機械 3年 A 被服 B 食物 C 保育 D 家庭電気					